

令和2年司法試験 合格体験記

平成30年度修了（未修コース）高木 悠司

13 期末修の高木悠司と申します。私は2度目の受験で合格することができました。これより、私が司法試験を通じて実感したことをお伝えできればと思います。私は司法試験に合格するために重要なことは次の2点だと思います。

1点目は試験を意識した勉強を行うことです。私は、2度目の受験に向けて苦手科目をなくすことと基礎知識の定着を意識して勉強を行いました。前者については、苦手科目があればそれだけで不利になるからです。得意科目の勉強は楽しく苦手科目の勉強は辛いので、どうしても苦手科目を後回しにしがちな人が多いと思いますが、苦手科目の克服にこそ力を注いでください。後者については、司法試験は基礎知識があれば対応可能だと気が付いたからです。出題趣旨や採点実感を読めば、問われたことを簡潔に答えればよく、そこには難しい理論は必要ないことがわかります。むしろ根拠を示す、論理を一貫させるなど論述を行う上で基本的なことができなければ評価が悪くなります。そのため、知識の定着として基本書の通読や択一・旧司の答案構成といった問題演習を行いました。加えて、答案添削を先生方をお願いしました。なぜなら答案の良し悪しは他人に客観的に判断してもらわなければわからないからです。ゼミや課題を利用して先生方から答案の添削を受けることをお勧めします。

2点目は謙虚な姿勢であることだと思います。いくら先生方や先輩方に勉強方法の指導や答案の添削、講義をしてもらったとしても、それを素直に聞き入れる態度がなければ吸収できず、結局時間の無駄となってしまいます。時間を有意義に使ってください。

最後になりましたが、私が司法試験に合格できたのは指導してくださった先生方や先輩方、学習環境を整えてくださった資料室や教務の方々のおかげです。心より御礼申し上げます。